伊勢宮川中学校だより

第６号
令和８年９月１７日
校長　山鹿　富生

全国学力・学習状況調査の結果

4 月 21 日、23 日、24 日の 3 日間にわたり 3 年生を対象に実施されました令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。調査の結果を受け、本校の取組の成果や課題を把握するとともに、授業改善に取り組みます。

＊令和 8 年度に実施された調査は、教科に関する調査（国語、数学、英語）及び生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）です。

○教科に関する調査より

国語では全国の平均正答率を若干下回りました。「語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる」問題では全国の平均正答率を大きく上回った一方、「文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる」問題に大きな課題が見られました。数学では、全国の平均正答率を大きく上回りました。特に「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる」問題では、学習の成果が大きく表れていました。英語では、難易度の高い正答率が若干低く、難易度の中低の問題の正答率が高かったため、全国の状況と比較すると若干課題が見られました。「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる」問題に学習の成果が表れたものの、特に「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」問題で大きな課題が見られました。今後もこれらの調査結果をもとに、本校の学習課題を把握するとともに、「わかる授業」に取り組み、学力の定着・向上に取り組んでいきます。

○生徒質問紙調査より

＊全国の状況と比較するとよかったもの（主なもの）

将来の夢や目標を持っていますか（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合）	本校	75.6	差
	三重県	68.4	7.2
	全国	67.6	8.0
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合）	本校	90.7	差
	三重県	84.9	5.8
	全国	84.5	6.2

＊全国の状況と比較すると課題が大きいもの（主なもの）

学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか（月に 1～2 回以上話すと回答した割合）	本校	46.5	差
	三重県	56.5	−10
	全国	56.7	−10.2
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合）	本校	63.9	差
	三重県	71	−7.1
	全国	67.5	−3.6

本校の生徒は三重県全体の生徒の様子と同じく、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した割合が 9 割を超え、また、「自分にはよいところがある」と回答した割合も 8 割を超えています。自己肯定感が育まれていて、とても素敵に成長している生徒が多いです。また、将来の夢や目標もしっかりと持っている生徒や友達関係にも満足している生徒も多く、中学校生活を充実して過ごしている様子が見られます。一方、学級で自分の意見を素直に示すことに抵抗がある生徒や自分と違う意見について考えることが苦手な生徒が多いようです。今後、今回の調査で明らかになった強みについてはさらに伸ばし、弱みについては改善できるよう、各授業を中心に、取り組んでいきます。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果に関する知事コメント

本年度の全国学力・学習状況調査では、教科に関する調査において、改善がみられた教科がある一方、引き続き課題のある教科もみられました。結果を分析し、教育活動の改善・充実に期待しています。

児童生徒質問調査においては、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した児童生徒の割合が９割を超え、全国平均より高い状況です。「自分には、よいところがある」と回答した割合も昨年度に引き続き８割を超え、三重の子どもたちに自己肯定感が育まれていることを心強く感じています。

また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した割合が、いずれも全国平均を上回っています。教職員の皆様が子どもたち一人ひとりに寄り添い、きめ細かな指導を行っていただいていることに感謝を申し上げます。

子どもたちが、自分の良さや可能性を実感しながら自己肯定感を育むことは、これからの社会を生き抜いていくための大切な基盤であると考えています。県としましても、教育施策を着実に推進してまいります。

令和８年８月３日　三重県知事　一見　勝之